

KENWOOD

CDレシーバー

RX-570CD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

© B64-1552-00 (J)

CONTENTS

安全上のご注意	
この取扱説明書の読み方	4
安全上のご注意	5
使用上のご注意	8
操作のしかた	
ALL MODE	
パワーオン、パワーオフ、ボリューム、アッテネーター、 モードチェンジ、ラウドネス	12
オーディオコントロール、トラフィックインフォメーション、 トラフィックインフォメーションボリューム	14
メニューモード、ピープ音、時計調節	16
CD/DISC CONTROL MODE	
ディスクプレイ、イジェクト、エクストラディスクプレ イ、早送り/早戻し、トラックサーチ、ディスクサーチ	18
リピートプレイ、トラックスキッププレイ、 ディスクスキッププレイ、トラックランダムプレイ、 マガジンランダムプレイ	20
テキスト/タイトルスクロール設定、 テキスト/タイトルスクロール、ディスプレイ切り替え、 セレクトバイファイル	22
TUNER MODE	
チューニング、チューニングモード、モノラル受信	24
マニュアルメモリー、オートメモリー、 セレクトバイファイル、ディスプレイ切り替え	26
NAME SET	28
REMOTE CONTROL	30
取り付け上のご注意	32
接続/取り付けのしかた	34
故障かな?と思ったら	37
保証とアフターサービス	41
仕様一覧	42

ALL MODE
CD/DISC MODE
TUNER MODE
NAME SET
REMOCON

RX COMPONENT SOUND SYSTEM RX-570CD

この取扱説明書の読み方

● 機能の名称が書いてあります。

パワーオン

電源を入れる

SRCボタンを押す。

MEMO

▶ すべての操作は電源オン中に行ってください。

● 機能の簡単な説明が書いてあります。

● 操作に関する補足説明が書いてあります。

ボタンを押し、すぐに手を離します。

ボタンを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

MEMO ▶ 本取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはあり得ない表示パターンが記載されていることがあります。

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

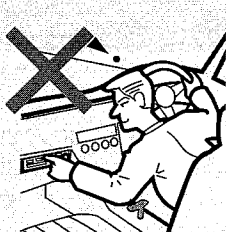
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

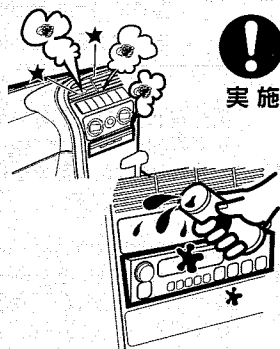
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- 音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

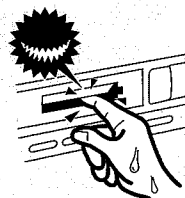
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。

ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機に接続できる別売品について

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30, KMD-C80, RD-350, およびRD-360は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, または KDC-C55を接続するときは、別売品の“CA-DS100”が必要です。別途お買い求めください。また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の“CA-KD20”が必要です。別途お買い求めください。なお、“CA-DS100”または“CA-KD20”を使いディスクチェンジャーを接続した場合には、使用できない機能（マガジンランダムなど）が発生します。

ディスクチェンジャースイッチングユニット KCA-S210Aを使用するとディスクチェンジャーを2台接続することができます。詳しくはKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30またはRD-360を接続した場合、これらのディスクチェンジャー/プレイヤーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。また、上記ディスクチェンジャー/プレイヤー以外ではCDテキスト/ディスクタイトル表示を行えません。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示が異なる場合があります。

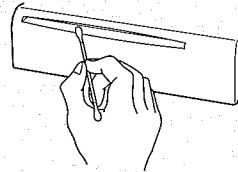
取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

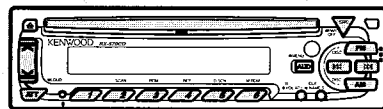
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶさしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、綿棒などで時々掃除してください。ホコリがたまった状態でCDを挿入すると、CDにキズが付くことがあります。



セットの異常にお気づきのときは

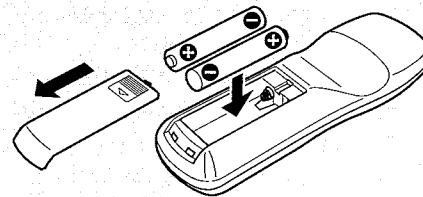
万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



リセットボタン

リモコンの電池について

付属の乾電池（単四型2本）を⊕⊖の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。

また、電池は子供の手の届かないところ置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

温度について

直射日光下では、窓を閉めきった自動車内は非常に温度が高くなります。本機内部が60℃以上になると、保護回路により“HOLD”と表示され、CDの演奏ができなくなります。

このようなときは、エアコンを動作させるか窓を開けて車内の温度を下げてください。しばらく待ち“HOLD”の表示が消えると演奏できるようになります。

MDのディスクタイトル表示について

本機に接続しているMDチェンジャーで英小文字が記録されているMDをプレイした場合、本機では英小文字を英大文字に変換してディスクタイトル表示します。

また、カナ文字が記録されているMDをプレイ中はディスクタイトル表示はされません。

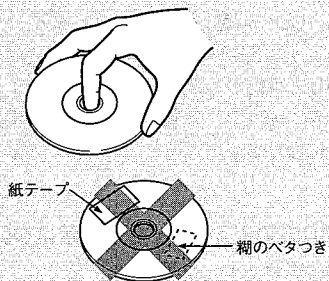
使用上のご注意

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

記録面に触れないようにしてください。
ラベルが印刷されていない面が、記録面です。

記録面はもちろんのこと、ラベルが印刷されている面にも、紙テープなどを貼らないでください。CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



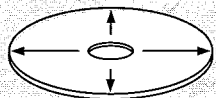
CDの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

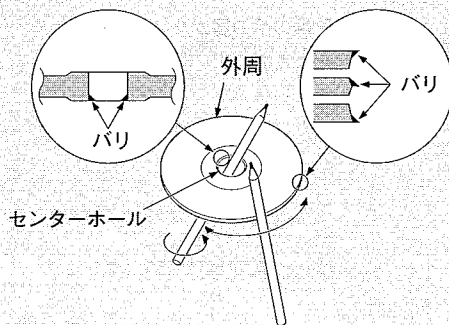
CDのお手入れについて

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音どびの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



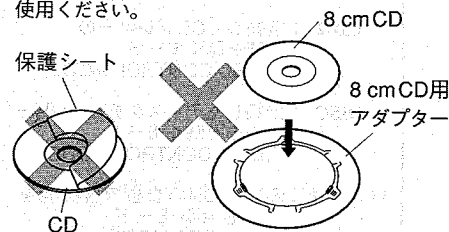
CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

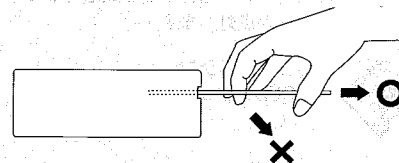
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDの取り出しかた

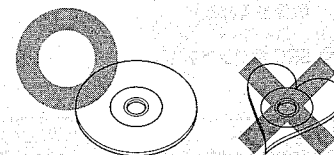
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷をつける原因となります。



このようなCDは使えません

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

DISCマークの付いているCD以外は使用しないでください。

CD-Rで記録されたCDは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDは使用できません。

ラベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因になるため、ラベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

ALL MODE 共通機能

ALL MODE

パワーオン

電源を入れる

C SRC ボタンを押す。

パワーオフ

電源を切る

C PWR OFF ボタンを1秒以上押す。

ボリューム

音量を調節する

A 音量を大きくする
 へ ボタンを押す。

A 音量を小さくする
 へ ボタンを押す。

アッテネーター

音量をすばやく小さくする

B ATT ボタンを押す。
 アッテネーターがON中はATTインジケータが点滅します。

B 元の音量に戻す
 ATT ボタンを押す。
 へ ボタンを1回押すか、へ ボタンをボリュームが“0”になるまで押しても元の音量に戻ります。

モードチェンジ

聴くソースを切り替える

C SRC ボタンを押す。
 押すたびにモードが以下のように切り替わります。

- TUNER : FM/AM放送を聴くモード (TUNER MODE)
- ▼
- CD/CD-1: CD演奏を聴くモード (CD MODE)
- ▼
- CD-2 : 接続したCDプレイヤーの演奏を聴くモード (DISC CONTROL MODE)
- ▼
- DISC : 接続したディスクチェンジャーの演奏を聴くモード (DISC CONTROL MODE)
- ▼
- ALL OFF : 電源がONのまま各機能を停止させるモード (ALL OFF MODE)

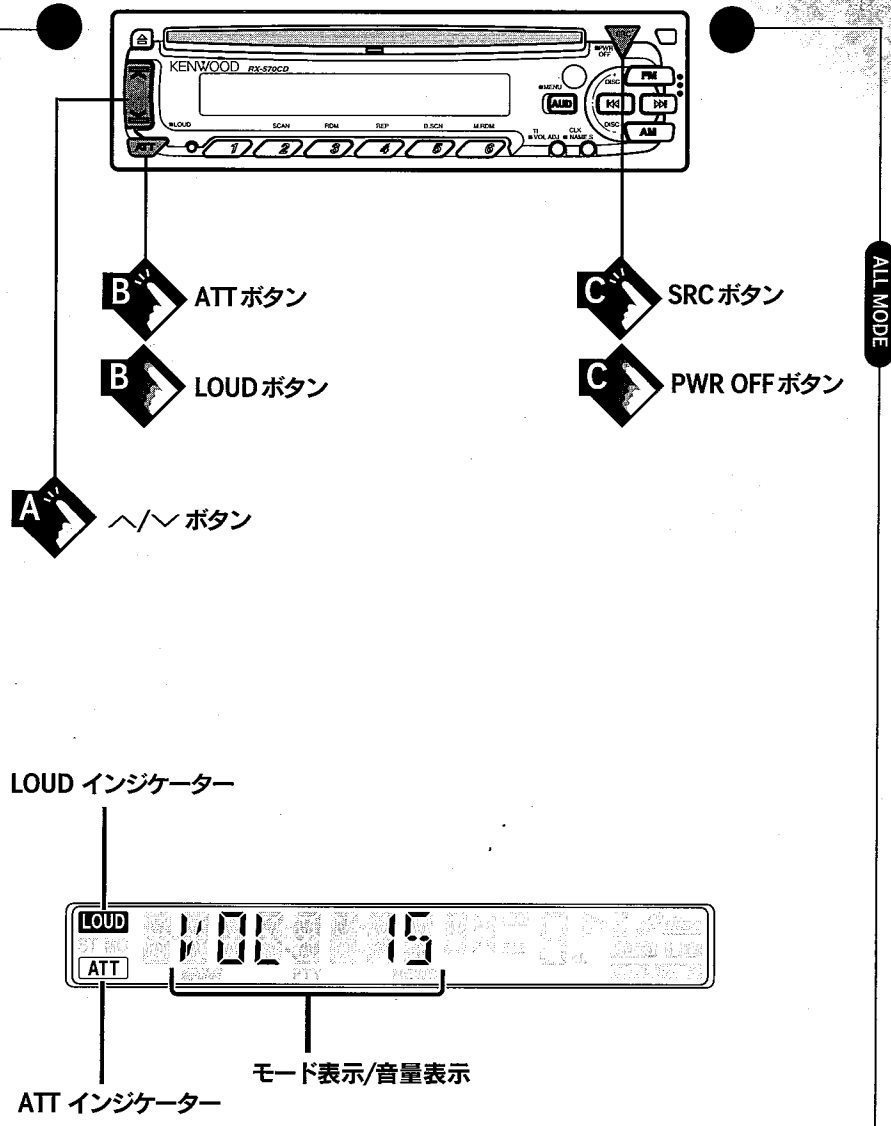
接続している別売品により、切り替わるモードが異なります。

ラウドネス

高音と低音を強調してメリハリのある音質にする

B LOUD ボタンを1秒以上押す。
 ラウドネスがON中はLOUDインジケータが点灯します。

B 元の音質に戻す
 LOUD ボタンを1秒以上押す。



ALL MODE

ALL MODE 共通機能

オーディオコントロール

音質や音量バランスを調節する

- AUD ボタン**を押す。
オーディオコントロールモードになります。
- FM ボタン**または**AM ボタン**を押す。
押すたびに調節できるモードが以下のように切り替わります。

DB : ダイナミックブーストモード
(設定値: FLAT/ROCK/POPS/JAZZ/EASY)

BAS : 低音調節モード
(設定値: -8~+8)

TRE : 高音調節モード
(設定値: -8~+8)

BAL : 左右音量バランス調節モード
(設定値: L[左]15~R[右]15)

FAD : 前後音量バランス調節モード
(設定値: F[前]15~R[後]15)

▶ 低音、高音、左右音量バランス、前後音量バランスモード中は...

- TI ボタン**または**TI ボタン**を押す。
低音、高音、左右音量バランス、前後音量バランスの各モードが調節できます。

▶ ダイナミックブーストモード中は...

- コールボタン1~5**を押す。
押すボタンにより以下のようなジャンル別の高音・低音設定が呼び出されます。
コールボタン1: フラット
コールボタン2: ロック
コールボタン3: ポップス
コールボタン4: ジャズ
コールボタン5: イージー

- ▶ 終了する
AUD ボタンを押す。

MEMO ▶ ダイナミックブースト、低音、高音の調節は、CD、FM放送、AM放送、および接続されているチェンジャー/プレイヤーのCD/MDを聞いているとき、それぞれのソースごとにできます。

▶ ダイナミックブーストは、音楽ジャンル別にメモリーされている音質の設定(低音中心周波数、低音レベル、低音クオリティ、高音中心周波数、および高音レベル)を呼び出す機能です。

トラフィックインフォメーション

交通情報を聞く

- TI ボタン**を押す。
交通情報局を受信します。
トラフィックインフォメーションがONのときはTIインジケータが点灯します。

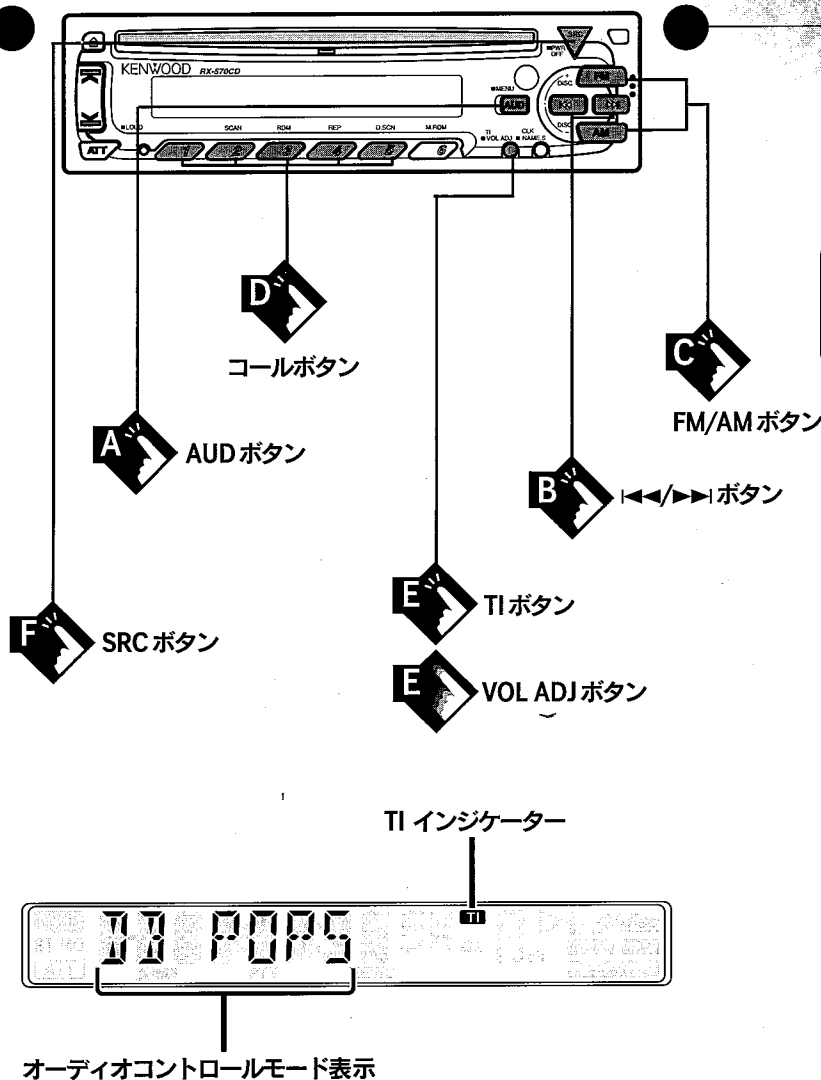
- ▶ 周波数を変更する
TI ボタンまたは**TI ボタン**を押す。
1620kHz、1629kHz、または522kHzに切り替えることができます。

- ▶ 解除する
TI ボタン、または**SRC ボタン**を押す。

トラフィックインフォメーションボリューム

交通情報受信中の音量を設定する

- トラフィックインフォメーションをONにして、設定したい音量にする。
- VOL ADJ ボタン**を2秒以上押す。
設定されると音量表示が1回点減します。
次回からトラフィックインフォメーションをONにすると、自動的に、この設定した音量で受信します。



ALL MODE 共通機能

メニューモード

初期状態を設定する

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードになります。
- C** 2. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびにメニュー項目が以下のよう
に切り替わります。
 - BEEP ON/OFF : ビープ音
 - CLK ADJ : 時計調節
 - AUTO/MANUAL : チューニングモード
(チューナーモード中に選択可能)
 - A-MEMORY : オートメモリー
(チューナーモード中に選択可能)
 - MONO ON/OFF : モノラル受信
(チューナーモードでFM放送を受信中に選択可能)
 - SCL MANU/AUTO : テキストスクロール設定
(ディスクコントロールモード中に選択可能)

- B** 3. ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。
それぞれのメニューを調節できます。
- A** 終了する
MENU ボタンを押す。

MEMO ▶メニューモードは本機の初期設定を変更・調節できるモードです。各メニュー項目の詳しい設定内容や手順は、下記ページを参照ください。
 ビープ音、時計調節：P.16
 テキスト/タイトルスクロール設定：P.22
 チューニングモード、モノラル受信：P.24
 オートメモリー：P.26

ビープ音

ボタンを1秒または2秒押したときの操作確認音をON/OFFする

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードになります。

- C** 2. FM ボタンまたはAM ボタンを
“BEEP ON” または “BEEP OFF”
と表示されるまで押す。

- B** 3. ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。
押すたびに “BEEP ON” 表示と
“BEEP OFF” 表示とが切り替わり
ます。
“BEEP ON” 表示：1秒または2
秒以上ボタンを押す操作をしたとき
に操作確認音が鳴ります。
“BEEP OFF” 表示：操作確認音を
OFFにします。

- A** 終了する
MENU ボタンを押す。

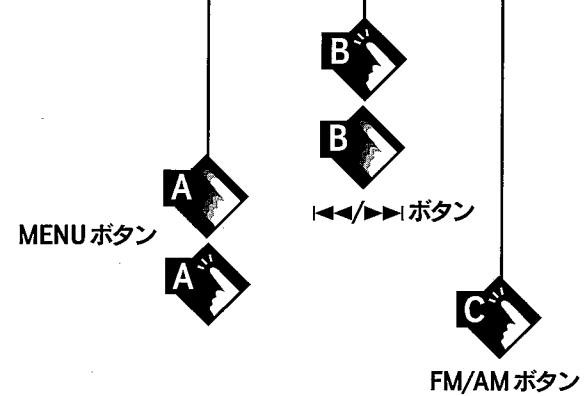
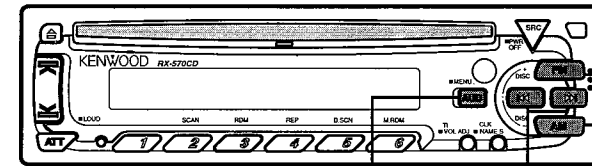
時計調節

時計を調節する

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードになります。
- C** 2. FM ボタンまたはAM ボタンを “CLK
ADJ” と表示されるまで押す。
- B** 3. ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを2秒
以上押す。
時計調節モードになり、時計表示
が点滅します。
- C** 4. FM/AM ボタンと◀▶ ボタンを
押す。
FM/AM ボタンで “時” を調節でき
ます。
◀▶ ボタンで “分” を調節でき
ます。

- A** 終了する
MENU ボタンを押す。
時計調節モードが終了し、“00” 秒
からカウントがスタートします。

12時間時計にする AM, PM表示
しない



メニュー項目表示

CD/DISC CONTROL MODE

CD/DISC MODE

CD/DISC MODE

ディスクプレイ

本機でCDを再生する

▶ CDが入っていないとき
CDのラベル面を上にして、CD口に
差し込む。

▶ CDが入っているとき
(CD-INインジケータ点灯時)
SRCボタンを“CD”または“CD-1”
と表示されるまで押す。



早送り/早戻し

聴きたい演奏か所を選ぶ



◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押し続
ける。

◀◀ ボタンを押し続けると手前へ早戻
しし、▶▶ ボタンを押し続けると先へ
早送ります。聴きたいか所で指を離
します。

トラックサーチ

聴きたい曲を選ぶ



◀ ボタンまたは▶ ボタンを押す。
◀ ボタンを押すと手前の曲にな
り、▶ ボタンを押すと先の曲にな
ります。
聴きたい曲のトラックナンバーが表示
されるまで押します。

イジェクト

本機にセットされているCDを取り出す



▲ ボタンを押す。

エクストラディスクプレイ

接続したチェンジャー/プレーヤーでディス
クを再生する



SRCボタンを“CD2”または“DISC”
と表示がされるまで押す。

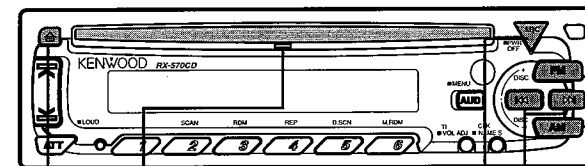
接続しているディスクチェンジャーま
たはCDプレーヤーにセットされている
CDまたはMDの再生が始まります。
ディスクチェンジャーモード中はDISC
インジケータが点灯します。

ディスクサーチ

聴きたいディスクを選ぶ
(ディスクチェンジャーの機能)

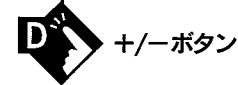


− ボタンまたは+ ボタンを押す。
− ボタンを押すと手前のディスクにな
り、+ ボタンを押すと先のディスクに
なります。
聴きたいディスクナンバーが表示され
るまで押します。ディスクナンバー10
は“0”と表示されます。



▲ ボタン

CD口



+/- ボタン



◀/▶ ボタン



SRC ボタン

トラックナンバー表示

ディスクナンバー表示

トラックタイム表示

DISC インジケータ



CD-IN インジケータ

CD/DISC CONTROL MODE

リピートプレイ

同じ曲/同じディスクを繰り返し聴く
(ディスクリピートはディスクチェンジャーの機能)



REP ボタンを押す。

押すごとにリピートプレイモードが以下のように切り替わります。

- トラック : 今聴いている曲を
リピートON 繰り返し再生します。
- ディスク : 今聴いているディスクを
リピートON 繰り返し再生します。
- リピートOFF

トラックリピート中はトラックナンバーが点滅します。
ディスクリピート中はディスクナンバーが点滅します。

トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す



SCAN ボタンを押す。

聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。
トラックスキャンプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



▶ 聴きたい曲の再生が始まったら...

SCAN ボタンを押す。

トラックスキャンプレイが解除され、通常のディスクプレイになります。

ディスクスキャンプレイ

聴きたいディスクを探す
(ディスクチェンジャーの機能)



D.SCN ボタンを押す。

ディスクマガジンにセットされている各ディスクの最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。
ディスクスキャンプレイ中はディスクナンバーが点滅します。



▶ 聴きたいディスクの再生が始まったら...

D.SCN ボタンを押す。

ディスクスキャンが解除され、通常のディスクプレイになります。

トラックランダムプレイ

ディスクから曲をランダムに選択して再生する



RDM ボタンを押す。

ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



▶ ほかの曲を聴く

▶▶ ボタンを押す。



▶ 解除する

RDM ボタンを押す。

マガジンランダムプレイ

マガジンにセットされているディスクから曲をランダムに選択して再生する
(ディスクチェンジャーの機能)



M.RDM ボタンを押す。

マガジンランダムプレイ中はディスクナンバーとトラックナンバーが点滅します。



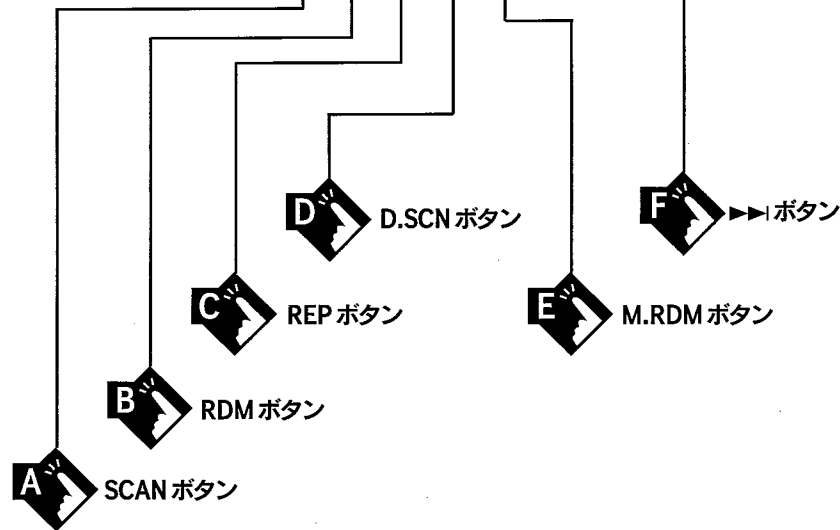
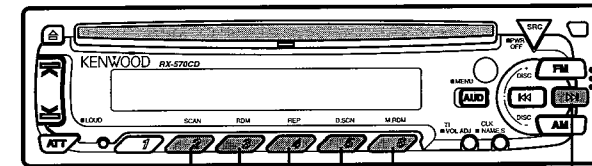
▶ ほかの曲を聴く

▶▶ ボタンを押す。



▶ 解除する

M.RDM ボタンを押す。



CD/DISC CONTROL MODE

テキスト/タイトルスクロール設定

CDテキスト/MDタイトルのスクロール方法を設定する(ディスクチェンジャーの機能)

- A** MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードになります。
- D** FM ボタンまたはAM ボタンを“SCL AUTO”または“SCL MANU”と表示されるまで押す。
- C** ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。
押すたびに“SCL AUTO”表示と“SCL MANU”表示とが切り替わります。
“SCL AUTO”表示: CDテキスト/MDタイトルを自動的にスクロールします。
“SCL MANU”表示: CDテキスト/MDタイトルを必要ときに手動でスクロールできます。

A ▶ 終了する
MENU ボタンを押す。

テキスト/タイトルスクロール

CDテキスト/MDタイトルをスクロール表示する(ディスクチェンジャーの機能)

- ▶ テキストスクロールが“SCL AUTO”に設定されているとき
B CDテキスト/MDタイトル表示中にCLK ボタンを1秒以上押す。
CDテキスト、またはMDタイトルの最初の文字からスクロールを再開します。
- ▶ テキストスクロールが“SCL MANU”に設定されているとき
B CDテキスト/MDタイトル表示中にCLK ボタンを1秒以上押す。
CDテキスト、またはMDタイトルが1回スクロール表示します。

ディスプレイ切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替える

- B** CLK ボタンを押す。
押すたびに以下のように表示が切り替わります。
トラックタイム
▼
ディスクネーム (CDチェンジャーのみ)
▼
ディスクタイトル (CD/MDチェンジャーのみ)
▼
トラックタイトル (CD/MDチェンジャーのみ)
▼
時計

セレクトバイファイル

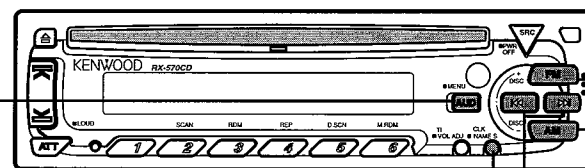
ディスクネームから聴くディスクを選ぶ(ディスクチェンジャーの機能)

1. ディスクチェンジャーモードにする。
- E** リモコンのSBF ボタンを押す。
セレクトバイファイルモードになると“DNPP”と表示されます。
チェンジャーのマガジンにセットされているディスクの中で、ディスクネーム (P.28) が設定されているディスクの名前が5秒間ずつ次々に表示されます。

D ▶ 表示を送る・戻す
FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
AM ボタンを押すと表示を戻し、FM ボタンを押すと表示を送ります。

F ▶ 聴きたいディスクが表示されたら
3. リモコンのOK ボタンを押す。
表示されているディスクの再生が始まります。

E ▶ ディスクを選ばずに解除する
リモコンのSBF ボタンを押す。



MENU ボタン



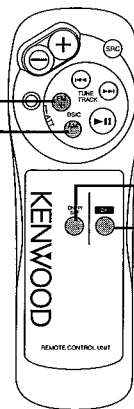
CLK ボタン



FM/AM ボタン



◀▶ ボタン



FM/AM ボタン



SBF ボタン



OK ボタン



トラックタイム/ディスクネーム/
ディスクタイトル/トラックタイトル/時計表示

TUNER MODE

チューニング

AM/FM放送を聴く

B ▶チューナーに切り替える
SRCボタンを“TUNER”と表示されるまで押す。

D ▶バンドを切り替える
AMボタンまたはFMボタンを押す。
AMボタンを押すとAMバンドに切り替わります。FMボタンを押すたびにFM1、FM2、FM3バンドの順に切り替わります。
バンドインジケータに受信しているバンドが表示されます。

C ▶放送局を替える
◀ボタンまたは▶ボタンを押す。
オートチューニングモード時に◀ボタンを押すと低い周波数の放送局を探し、▶ボタンを押すと高い周波数の放送局を探して自動的に受信をします。
マニュアルチューニングモード時に◀ボタンを押すと周波数が1ステップ下がり、▶ボタンを押すと周波数が1ステップ上がります。
FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

チューニングモード

選局方法を切り替える

A 1. MENUボタンを1秒以上押す。
メニューモードになります。

D 2. FMボタンまたはAMボタンを“AUTO”または“MANUAL”と表示されるまで押す。

C 3. ◀ボタンまたは▶ボタンを押す。
押すたびに“AUTO”表示と“MANUAL”表示とが切り替わります。
“AUTO”表示：オートチューニングモードになっています。オートチューニングモード中はAUTOインジケータが点灯します。
“MANUAL”表示：マニュアルチューニングモードになっています。

A ▶終了する
MENUボタンを押す。

モノラル受信

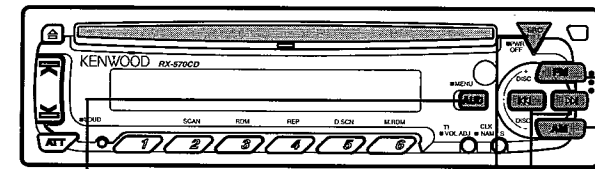
FM放送をモノラル受信する

A 1. MENUボタンを1秒以上押す。
メニューモードになります。

D 2. FMボタンまたはAMボタンを“MONO ON”または“MONO OFF”と表示されるまで押す。

C 3. ◀ボタンまたは▶ボタンを押す。
押すたびに“MONO ON”表示と“MONO OFF”表示とが切り替わります。
“MONO ON”表示：モノラル受信がONになっています。
モノラル受信がON中はMOインジケータが点灯します。
“MONO OFF”表示：モノラル受信がOFFになっています。

A ▶終了する
MENUボタンを押す。



B SRCボタン

D FM/AMボタン

A MENUボタン

C ◀/▶ボタン

ST インジケータ

周波数表示/
メニューモード表示

バンドインジケータ



MO インジケータ

AUTO インジケータ

TUNER MODE

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーする

- B** ▶ 周波数をメモリーする
メモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押す。
受信中の放送局がメモリーされます。メモリーが完了すると押しているメモリーボタンのメモリーナンバー表示が点滅から点灯に変わります。
AM、FM1、FM2、およびFM3の各バンドで、それぞれ1つのメモリーボタンに1つの放送局がメモリーできます。

- B** ▶ メモリーした放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したメモリーボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

オートメモリー

放送局を自動的に探してメモリーする

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードになります。
- E** 2. FM ボタンまたはAM ボタンを“A-MEMORY”と表示されるまで押す。
- D** 3. ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを2秒以上押す。
オートメモリーが始まります。現在のバンドに6局メモリーするか受信可能な放送局をすべてメモリーするとオートメモリーは終了します。
- B** ▶ メモリーした放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したメモリーボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

セレクトバイファイイル

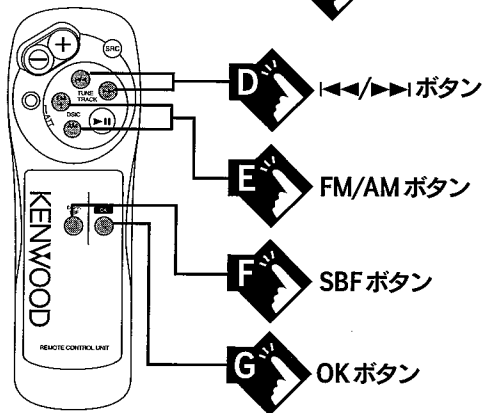
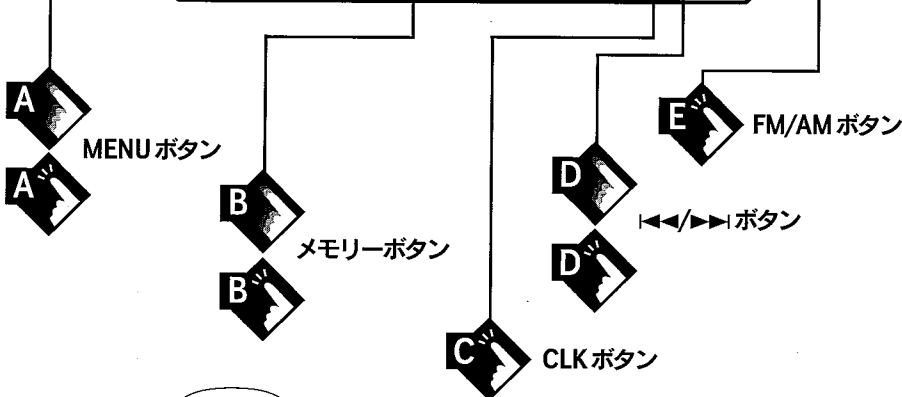
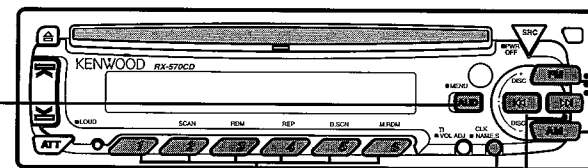
メモリーしてある放送局から受信する局を選ぶ

- 1. チューナーモードにする。
- F** 2. リモコンのSBF ボタンを押す。
セレクトバイファイイルモードになると“SNPP”と表示されます。メモリーされている放送局の周波数、または放送局にネームセットされているときはステーションネーム (P.28) が5秒間ずつ次々に表示されます。
- D** ▶ 表示を送る・戻す
◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。
◀▶ ボタンを押すと表示を戻し、▶▶ ボタンを押すと表示を送ります。
- E** ▶ 表示順序を切り替える
FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
FM ボタンを押すとFM1、FM2、FM3、AMの順に表示され、AM ボタンを押すとAM、FM3、FM2、FM1の順に表示されます。
- G** ▶ 聴きたい放送局が表示されたら
3. リモコンのOK ボタンを押す。
表示されている放送局を受信します。
- F** ▶ 放送局を選ばずに解除する
リモコンのSBF ボタンを押す。

ディスプレイ切り替え

表示される情報を切り替える

- C** ▶ CLK ボタンを押す。
押すごとに以下のように表示が切り替わります。
- 周波数
ステーションネーム (SNPS)
(受信中の放送局にステーションネームが付けられているときに選択可能)
時計



周波数表示/メニューモード表示/
ステーションネーム表示/時計表示



メモリーナンバー表示

NAME SET




ネームセット

放送局やCDチェンジャー内のディスクに名前を付ける

- 名前を付けたい放送局・ディスクを受信・再生する。


MEMO ▶ ディスクに名前を付けるときは、表示をディスクタイトル/トラックタイトル表示以外にしてください。

- ▶ ディスクスキャンプレイとマガジンランダムプレイ中はネームセットできません。
- ▶ トラフィックインフォメーションモードで受信しているときにはネームセットできません。チューナーモードで名前を付けたい交通情報局を受信し直してください。

-  2. NAME.Sボタンを2秒以上押す。
ネームセットモードになり、“NAME SET”と表示されます。
-  3. ◀◀または▶▶ボタンを押す。
カーソルの位置が移動します。
-  4. FM/AMボタンを押す。
文字を切り替えます。

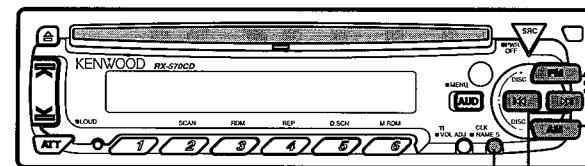
- 手順3と4の操作を繰り返して名前を完成する。

名前を登録できる放送局の数は、FMバンドで32局、AMバンドで16局までです。
名前を登録できるディスクの枚数は、使用するCDチェンジャーによって異なります。CDチェンジャーに付属の取扱説明書を参照してください。

-  6. NAME.Sボタンを押す。

または、10秒間操作をやめる。
ネームセットモードを終了します。ネームセットモードを終了した時点で表示されている名前が、放送局にはステーションネームとして、ディスクにはディスクネームとして登録されます。

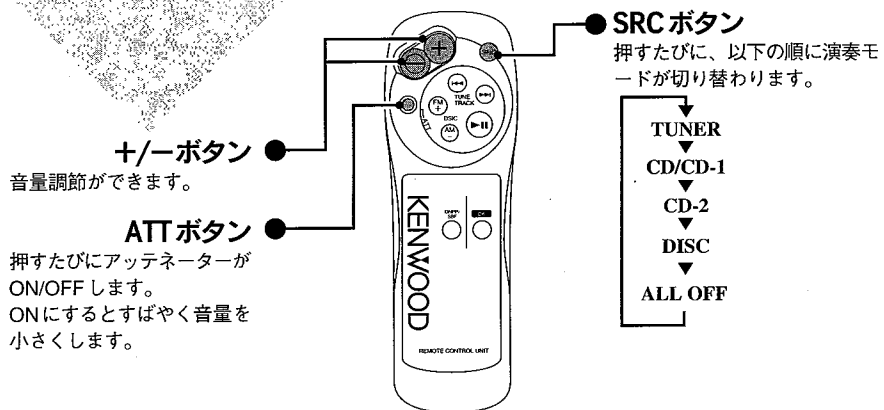
MEMO ▶ 名前を変える
手順2の後、現在付いている名前が表示されます。この名前を手順3と4の操作により変更することもできます。



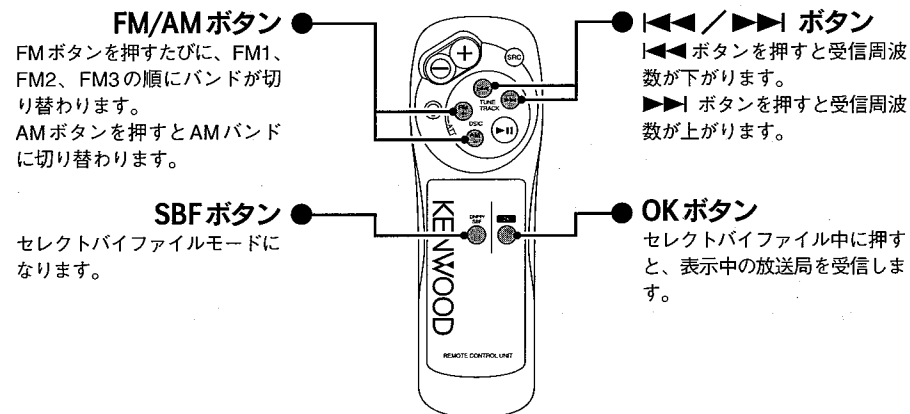
ディスクネーム/ステーションネーム表示

REMOTE CONTROL

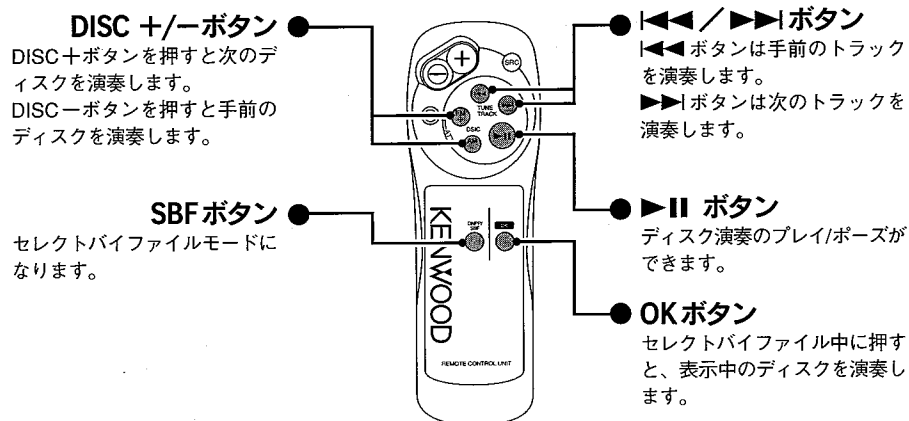
ALL MODE



TUNER MODE



CD/DISC CONTROL MODE



取り付け上のご注意

警告



禁止

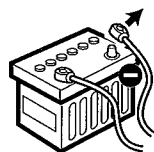
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



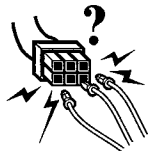
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

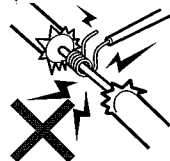


実施



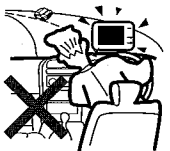
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取り付け用部品をご使用ください。取り付け用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



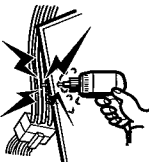
実施

車両の板全部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続のしかた

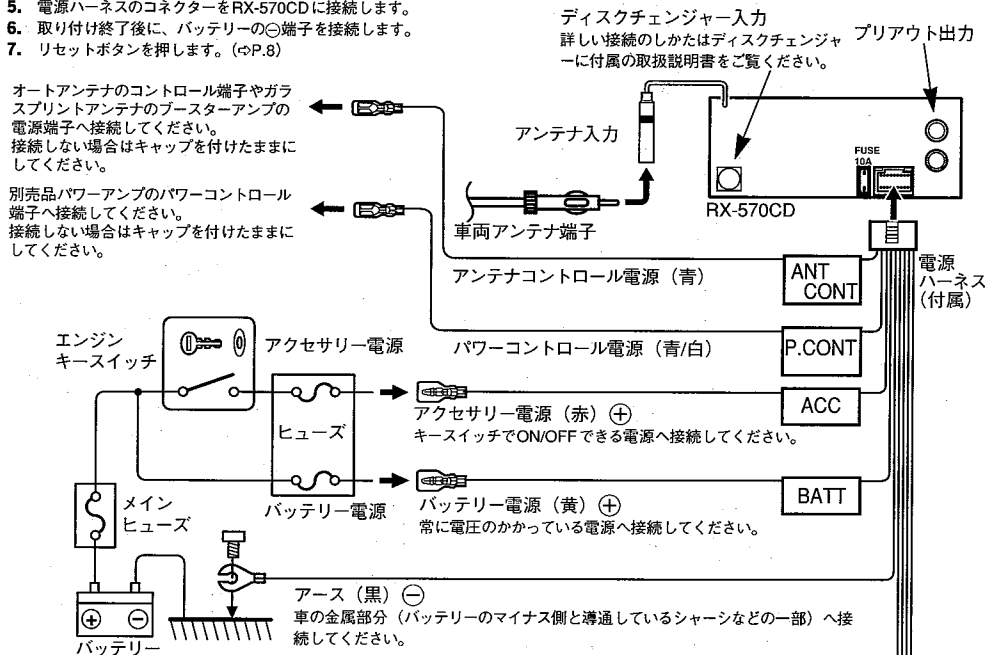
●接続

取り付け手順

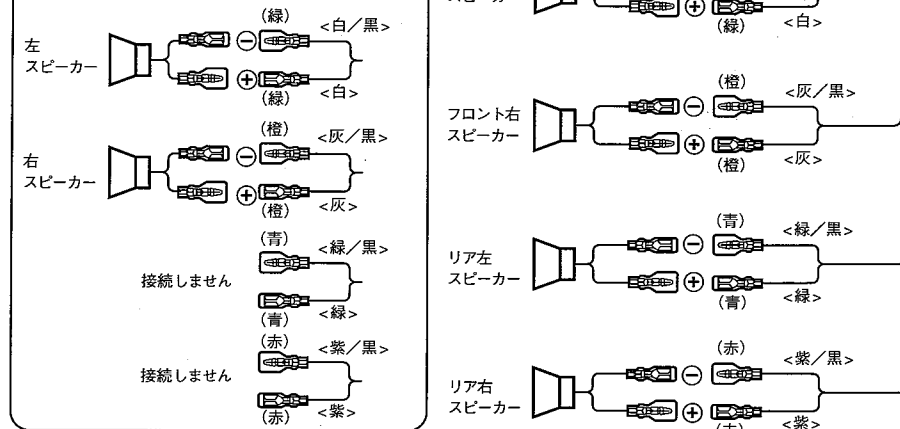
1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスのアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）を順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-570CDに接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. リセットボタンを押します。(P.8)

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

別売品/パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

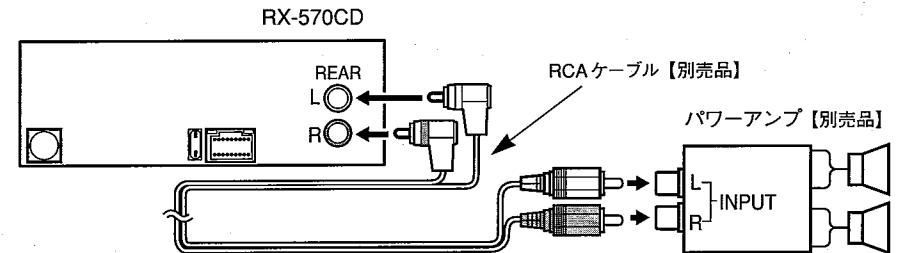


2スピーカー時のスピーカー接続方法



●プリアウト端子の接続

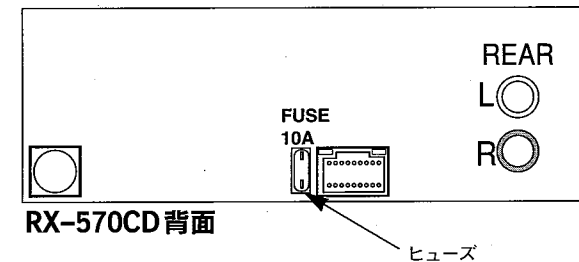
別売品のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。



プリアウト端子からは、操作確認音（ピーブ音）は出力されません。

●ヒューズ交換のしかた

ヒューズが切れた場合はコードがショートしていないことを確認後、セット背面に表示してある容量と同じ容量の新しいヒューズと交換してください。



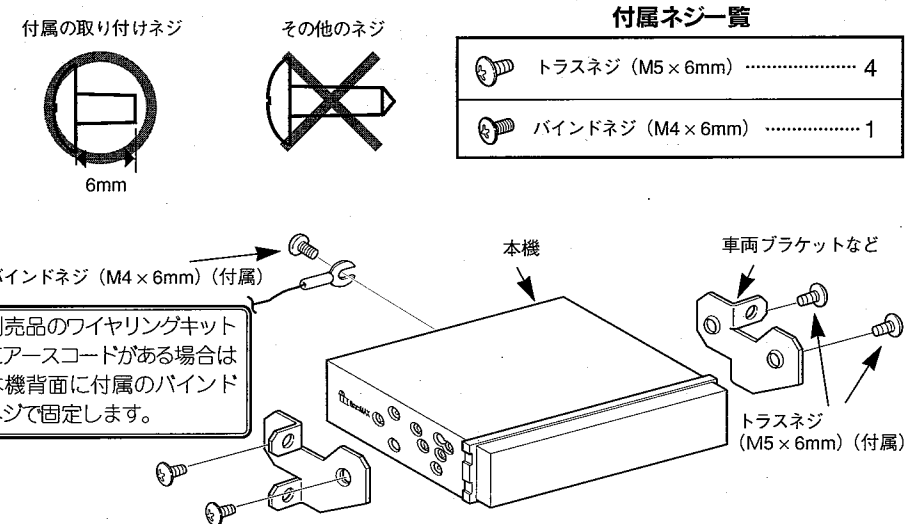
注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

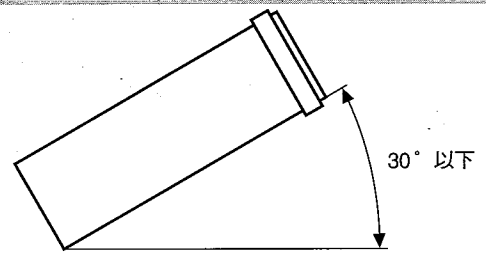
取り付けかた

付属のトラスネジ (M5×6mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

注意 ●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
 付属以外の長いネジを使用すると本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
 また、短いネジを使用すると本機が取り付けブラケットなどから外れることがあります。
 ●取り付け前にCDの動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトをおこなってください。



注意 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ヒューズが切れている。 入・出力/電源コードが間違っって接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。 “接続のしかた(⇒P.34)”を見て正しく接続してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターがONになっている。 音量が最小になっている。 フェーダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 スピーカーコードが間違っって接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターを解除してください。 音量を適度に上げてください。 フェーダー、バランスを調整してください。 “接続のしかた(⇒P.34)”を見て正しく接続してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいます。 スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 ⇒P.8
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 “接続のしかた(⇒P.34)”を見てアンテナコントロール電源を接続してください。
CDが入らない	すでにCDが入っている。	すでに入っているCDを取り出してから入れてください。
CDを入れてもすぐ出てしまう	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しになっている。 CDが異常に汚れている。 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ラベル面を上にして入れなおしてください。 “CDのお手入れ(⇒P.10)”を見てクリーニングしてみてください。 しばらく、放置してから使用してください。 ⇒P.9
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> 取り付け角度が、30°を越えている。 取り付けが不安定になっている。 CDに傷や汚れなどが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 30°以内の角度に調整してください。 しっかりと固定してください。 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、CDの問題です。“CDのお手入れ(⇒P.10)”を見てクリーニングしてみてください。
音質が悪い(再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> CD自身の音質が悪い。 CDに傷や汚れなどが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のCDを再生して問題がなければCD自身の問題です。 “CDのお手入れ(⇒P.10)”を見てクリーニングしてみてください。
選曲動作をしても目的の曲にならない。	ランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイモードを解除してください。 ⇒P.20
エンジンキーをOFFにすると、メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源が所定の場所に接続されていない。	“接続のしかた(⇒P.34)”を見て正しく接続してください。

故障かな?と思ったら

こんなとき

どうして

こうします

付けたディスクネームが違うディスクを再生時に表示される。	名前を付けたディスクと同じトラック数、総録音時間のため識別できない。	本機ではディスクのトラック数、総録音時間で表示する名前を識別しています。同じトラック数、総録音時間のディスクは識別できません。
ディスクネーム表示にするとNO NAMEと表示される。	再生中のディスクにディスクネームを登録していない。	ディスクネームを登録してください。
ディスクタイトル、トラックタイトル表示にするとNO TEXTと表示される。	再生中のCDがCD TEXT対応ではない。	CD TEXT対応のCDを使用してください。
セレクトバイファイルにしてもNO ACCESと表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクマガジンにディスクがセットされていない。 ディスクマガジンにセットされたから、一度も再生されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクマガジンにディスクをセットしてください。 ディスクスキャンを行うなどして一度すべてのディスクを再生してください。
ディスクネームモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクネーム表示になっていない。 本機でCDを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクネーム表示にしてください。 ディスクネームの登録はディスクチェンジャーモード中に行ってください。

●ディスクチェンジャーまたはCDプレーヤー（別売品）を接続しているとき

こんなとき

どうして

こうします

ディスクチェンジャーコントロールモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(⇒P.8)
ディスクの演奏が始まらない	電源がオンになっていない。	電源をオンにした後、SRCボタンを押してディスクコントロールモードにしてください。
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている。 ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクのクリーニングをしてください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 本機のリセットボタンを押してください。(⇒P.8)
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。(⇒P.20)

故障かな?と思ったら

●以下の表示で本機の状態をお知らせします。

以下の表示で **システムの状態**をお知らせします。

EJECT : ディスクチェンジャーにディスクマガジンが入っていない、または完全に入っていない。

NO DISC : ●ディスクチェンジャーのディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
●ディスクマガジンにトレイが入っていない。

E-04 : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクにキズが多く付いている。
●ディスクが入っていない。

BLANK : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。

NO DATA : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。

E-77 : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

E-99 : ●ディスクマガジンに異常がある。
●何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

HOLD : 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

保証とアフターサービス

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

- 技術料**: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代**: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

メモ

FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
チャンネルスペース	100 kHz
実用感度 (S/N比: 30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N比: 50 dB 感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 3 dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 (モノラル)	70 dB
選択度	≥ 80 dB (± 400 kHz)
ステレオセパレーション (1 kHz)	40 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	522 kHz ~ 1629 kHz
チャンネルスペース	9 kHz
感度	28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	96 dB
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	45 W \times 4
定格出力 (4 Ω , 1 kHz, 10%THD)	28 W \times 4
プリアウトレベル (CD/CDチェンジャー)	1800 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	$\leq 600 \Omega$
音質調整	バス (100 Hz)
トレブル (10 kHz)	± 10 dB

電源部

電源電圧 (\ominus アース)	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 160 mm
重量	1.3 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。